

基礎編

大学受験専用 英作文対策 パック

Presented By



Fruitful English

フルーツフルイングリッシュ・リミテッド

Copyright© 2022 FRUITFUL ENGLISH, LTD. All Rights Reserved.

はじめに

英作文、皆さんは好きですか？ 嫌いですか？ 私の経験では、「英作文が好き」という学生は少なく、苦手とする人が多いようです。なぜでしょう？

理由はさまざまだと思いますが、根本的には「何をすればいいかわからない」という気持ちがあるのではないのでしょうか？ 読解問題などに比べると、成果が見えにくく、また、独りでは勉強しづらい分野です。書いてみても正しいのか、間違っているのか、独りでは分かりません。また、自由英作文においては、何を持って「良い内容」「悪い内容」なのか、英作文の勉強を始めたばかりの人には分かりっこありません。

私も学生時代、英作文はあまり得意な方ではありませんでした。数学が好きだった私にとって、「正解が1つでない」という英作文（特に自由英作文）は生理的に受け付けず、困り果てていました。ただ、私が志望していた大学では、毎年日本でも最難関クラスの英作文が出題されていましたので、放置するわけにもいかず、高2の夏ごろから本格的に勉強を始めました。当時は英作文の参考書はあまりなく、フルーツフルイングリッシュのようなサービスがあることも知らなかった（そもそも家にインターネットがなかった）ので、学校の先生に頼み込んで、忙しい中時間を作ってもらい、英作文の練習に励みました。最初は基本的な内容を何度も反復し、多種多様な問題に取り組みました。

最初は非常に苦労しましたが、量をこなすうちに、「感覚」的なものが養われました。「こういう問題が来たら、こんな感じに書く」という感覚です。いったん感覚が身に付くと、英作文の問題がずいぶん楽になりました。問われている、つまりは、求められているポイントが分かるようになったからです。

無事志望の大学に合格し、大学でも英語を学びました。大学レベルの英語では、単に文法や語法だけでなく、スタイルも指摘されました。「この書き方はアカデミックではない」という指摘です。大学での学びを通して、私の英作文の力はさらに向上したと思います。結果として、大学卒業後、予備校に就職してから受けた英検1級は、ライティングで94%の得点率で合格することができました。

私が高校・大学での学びを通して得た感覚、つまりは英作文のコツを皆さんにお伝えしたいと思い、この講座を開発しました。この講座は「大学受験専用英作文対策パック」の基礎編にあたります。高1・2生でも取り組めるよう、基本的な問題から始めます。一部、難関大学の問題も取り上げますが、基本を押さえておけば、それほど難しくはありません。このパックの問題で、入試で出題される英作文のパターンの9割以上をカバーすることができます。

この講座を通して、皆さんの英作文の力が飛躍することを願います。頑張ってください！

もくじ

Lesson 1	和文英訳の基本を学ぼう①	4
Lesson 2	和文英訳の基本を学ぼう②	7
Lesson 3	自由英作文の基本を学ぼう①	9
Lesson 4	自由英作文の基本を学ぼう②	11
Lesson 5	自由英作文の基本を学ぼう③	14
Lesson 6	いろいろな形の自由英作文に挑戦しよう①	15
Lesson 7	いろいろな形の自由英作文に挑戦しよう②	18
	免責事項とご利用上の注意事項	19
	変更履歴	20



Lesson 1 和文英訳の基本を学ぼう①

Lesson 1 と 2 では、英作文の中でも代表的な問題である和文英訳の基礎について学びます。「和文英訳」とは、与えられた日本語の文章を英語に訳す問題です。

和文英訳では、第 1 に、知っている英語表現を使いこなせるようになることが重要です。長文で読むと意味がわかるが、いざ英作文で書くと、なかなか表現が出てこないという経験をしたことがある人は多いのではないのでしょうか？ 答えを見て「あ～この表現を使えばよかったのか～」という声は、予備校で教えていてもよく聞きます。

「知っているのに出てこない」というのは、書いたり話したりするアウトプットの不足が原因です。集中的にアウトプットに取り組むことによって、短期間でも表現力がぐっと高まります。

Lesson 1 と 2 では、皆さんの多くが知っているであろう基本的な表現の練習をします。例題も課題も、すべての問題で複数の書き方があります。自分の英語知識を活用して、どんどん書く練習をしましょう！

← 次の日本語を英語に訳しなさい。

例題

彼の企画はとても斬新だったので、皆が驚いた。



例題

彼の企画はとても斬新だったので、皆が驚いた。

解答例

- ① His proposal was so radical that everyone was surprised.
- ② What he suggested was really radical, so everyone was surprised.
- ③ Everyone was surprised because of his radical design.

解答例の解説

全体の構造は「～なので、…」です。これの表し方には数パターンあります。まず、よく文法や構文の本で紹介されるのが、so ~ that … 「～なので…」の形です。「～」には形容詞や副詞が入り、今回だと radical 「斬新な」が入ります。

so ~ that … を用いて書くと①のようになります。「企画」は proposal としました。この単語を知らなかった人は、以下の②③のように言い換えることでも対応できます。

②では、「～なので、…」の部分を中心に so を使って書きました。また、「彼の企画」を「彼が提案したこと」と考えて what he suggested と表現しました。

③では、「～なので、…」を because of を使って書きました。「彼の企画」には design を使うこともできます。because of の後には名詞（名詞句）がくる点も覚えておきましょう。

この問題から、次のことが学べます。

原則1 大きな構造を見抜き、それに合う英語表現を使う

今回は「～なので、…」という大きな構造を見抜き、① so ~ that …, ② ~, so …, ③ ~ because of … などの表現を使う

原則2 難しい表現は言い換えられることがある

「企画」の表現を迷ったかもしれませんが、proposal/design が思い浮かばなかったとしても、「彼が提案したこと」と考えて suggest を使って言い換えることもできます。ちなみに、「モノ・コト」の関係代名詞 what は英作文で使用機会が非常に多いので、知識があいまいな人は文法の本で復習しておきましょう。



加えて、全体が過去形であることに注意しましょう。his proposal isのように現在形で書いてはいけません。また、うっかり後半で everyone is surprised のようにしないようにしましょう。こういったケアレスミス
のチェックも重要です。また、surprise は「驚かせる」という他動詞になりますので、「驚く」とする時
には be surprised の形を使います。

原則 3 ケアレスミスに注意

時制、三単現の s、代名詞は特に間違いやすい文法です。最後に必ずチェックしましょう。

もう一度おさらいしましょう。

原則 1 大きな構造を見抜き、それに合う英語表現を使う

原則 2 難しい表現は言い換えられることがある

原則 3 ケアレスミスに注意

以上でこのテキストはおしまいです。

引き続きフルーツフルイングリッシュのサービスをご利用いただけるよう、
これからも充実したお役立ちコンテンツを準備していく予定です。

免責事項

このコンテンツではすぐに役立つ情報アドバイスを提供していますが、このコンテンツで提供された情報およびアドバイスによって起きた問題に関しては、一切当方に責任や義務は発生いたしません。

本文中の出題文や作文例などは常時見直しを行っているため、現在配布されているコンテンツの内容と異なる場合がございます。

ご利用上の注意事項

- ・商品の特性上、一度購入された商品の返却は一切出来かねますので予めご了承をお願い申し上げます。
- ・商品の特性上、一度購入頂いたバージョンから予告なく内容の改変、削除、追記を行う場合がございます。あらかじめご了承をお願いします。購入後のダウンロードは購入日から1ヵ月以内に行ってください。
- ・購入したコンテンツの全部または一部の配布、オンライン上へのアップロードなど、その媒体を問わず、購入者ご本人様以外の第三者への提供は行えません。また利用用途は個人の英語学習目的と限定させていただきます。

※当文書・冊子の著作権は、フルーツフルイングリッシュ・リミテッドに帰属します。
無断転載などはお断りいたします。

変更履歴

版数	変更内容	日付
1.0a 版	新規作成	2022.04.12
大学受験専用英作文対策パック 基礎編 お試し		
著者		
英文監修		